

平成 21 年 1 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 栄 電 子  
 代表者名 代表取締役社長 河邊 啓一  
 (JASDAQ コード番号 7567)  
 問合せ先 執行役員経理部長 菊池 隆之  
 TEL (03) - 6385 - 7240

平成 21 年 3 月期業績予想の修正並びに配当予想の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期通期業績予想ならびに配当予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期連結業績予想値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	7,900	223	224	116	22 円 82 銭
今回修正 (B)	5,600	△85	△95	△140	△27 円 54 銭
増減額 (B - A)	△2,300	△308	△319	△256	—
増減率 (%)	△29.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	7,580	170	180	240	47 円 24 銭

2. 平成 21 年 3 月期個別業績予想値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	7,000	195	197	103	20 円 26 銭
今回修正 (B)	5,100	△100	△105	△135	△26 円 56 銭
増減額 (B - A)	△1,900	△295	△302	△238	—
増減率 (%)	△27.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	6,826	150	155	210	41 円 33 銭

3. 修正の理由

① 連結業績

第 3 四半期に入り世界的な金融危機が实体经济に悪影響を及ぼし、とりわけ当社グループの主力市場である半導体製造装置関連分野においては、半導体市況の悪化、設備抑制による需要の減少が顕著となっており、その需要減少傾向は第 2 四半期を上回る勢いとなっております。これによる電子部品

業界への影響は多大であり、昨年10月を境に、一般電子部品、電源、電子デバイス全般の急激な受注の冷え込みが始まり環境が悪化したことから、当期の売上高は予想を大幅に下回る見込みであります。また、当初半導体製造装置関連の需要回復を年度後半の時期と見込み、第3四半期以降の販売増加を見込んでいたことも、業績見通しの乖離幅が大きくなった要因であります。

当社グループにおきましては、営業施策として掲げ推進しております主力取扱メーカーの取扱い品目の拡大、販売連携及び地域営業戦力の強化、経費見直しによるコストダウンの実現等を実行しておりますものの、売上高の減少をカバーするには至っておらず、売上高の減少に伴い、損益面も大幅に予想を下回り、上記のとおり営業損失・経常損失・当期純損失を計上する見込みであります。

売上高は5,600百万円（前回予想比2,300百万円の減少）、営業損失は△85百万円（前回予想比308百万円減少）、経常損失は△95百万円（前回予想比319百万円減少）、当期純損失は△140百万円（前回予想比256百万円減少）となる見込みであります。

## ② 個別業績

個別業績修正の理由につきましても、連結業績で述べた同様の理由となります。

売上高は5,100百万円（前回予想比1,900百万円の減少）、営業損失は△100百万円（前回予想比295百万円減少）、経常損失は△105百万円（前回予想比302百万円減少）、当期純損失は△135百万円（前回予想比238百万円減少）となる見込みであります。

## 4. 平成21年3月期期末配当予想の修正について

### ① 配当予想の修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回発表予想	—	—	—	15円00銭	15円00銭
今回修正予想	—	—	—	10円00銭	10円00銭
(参考)前期実績	—	—	—	15円00銭	15円00銭

### ② 修正の理由

当社は、利益配分につきましては将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定した配当を継続して実施していくことを配当政策の基本方針としております。

しかしながら、事業環境が一層厳しさを増す中、当期の業績は当初予想を大幅に下回る見込みとなることから、当期の配当予想としておりました期末配当15円を、誠に遺憾ながら5円減額の10円に修正させていただくものであります。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により上記予想とは異なる可能性があります。

以 上